教科名		社会(地理的分野)	教科書調査報告(教科書調査委員会)
調査の観点 発行者名		東京書籍	教育出版
A内容について	(1)基礎・基本の確実な定着 に関する配慮や工夫がなされ ているか。	・各ページに「チェック」「トライ」が設けられ毎時間の学習内容を確認することができる。また、単元末の「まとめの活動」には「ワードチェック」で単元で習得する知識を確認することができ、基礎・基本の確実な定着への配慮がされている。 ・「スキル・アップ」では、地図やグラフなど、地理の学習に必要な基礎的・基本的な技能を身に付けられるようになっている。	・単元末の「学習のまとめと表現」には、その単元で学習してきた 用語を確認するための「ワードチェック」や地図上で学習内容をま とめる項目が設けられており、基礎的・基本的な知識の確実な定 着への配慮がされている。 ・「地理にアプローチ」や「地理の技」を設け、地理の学習で身に付 けたい技能や表現力を養う工夫が見られる。
		・各ページの「チェック」「トライ」、単元末の「『見方・考え方』を働かせて探究課題に答えよう」を活用し、課題解決的に学習を進め、思考力や判断力、表現力を養うことができるよう工夫されている。・特設ページ「資料から発見!」では、資料を読み取り、考える力を段階的に養い、比較したり、関連付けたりすることができるようになっている。	・各ページの導入資料や「表現」の項目、単元末の「学習をしたことを振り返ろう」を活用し、単元を通した課題解決的な学習を展開することで、思考力や判断力、表現力を養うことができる。 ・特設ページ「持続可能な社会に向けて」の「TRY!」を活用し、学習内容をさらに深く探究することができる活動が設定されている。
	(3)資料が精選され、その内容が時代に即応したものになっているか。	・2023年撮影の写真資料があるなど時代に即した資料を掲載し、現代的な諸課題を5つのテーマから捉えられる資料を掲載している。 ・コラム「未来にアクセス」では今日的な課題の事例を取り上げるとともに、多文化共生の視点を踏まえた資料も扱っており、SDGsやグローバル社会を意識できるような構成になっている。	る地域の最新の資料が掲載されている。
	向けた教育・ESDの視点が取	・巻頭には「持続可能な社会の実現に向けて」が設けられ、現代的諸課題の「環境・エネルギー」「人権・平和」「伝統・文化」「防災・安全」「情報・技術」の5つのテーマを意識することができる。また、それぞれの章に記載している「もっと知りたい」や「未来にアクセス」などの特設ページは、持続可能な社会の実現を考えるヒントとなっている。	・巻頭と特設ページ「持続可能な社会に向けて《6テーマ》」のほかに、コラム「地理の窓」や「クロスロード」で、SDGsについて考えられるようにするとともに、各節を貫く課題やSDGsに示された目標を視点にして学習を広げたり深めたりして地球的課題の解決に向けた社会参画の意識を高める工夫がされている。
B使用上の便宜について	めやすいような便宜が図られ	・単元を貫く探究課題が設定され、単元の導入で学習内容の見通しをもたせる「みんなでチャレンジ」や探究の視点となる「地理を学ぶ5つのミカタ」が明示されており、主体的に学習を進めやすい。また、各ページの見出しの上に、学習内容を特徴的に表した表現の副題が加えられている。	・各ページのタイトルに学習内容のイメージが膨らむ主題と、学習事項を端的に示した副題を明示することで、学習の見通しをもたせている。また、「学習のまとめと表現」では「活用してまとめよう」で社会的課題について考えを表現する活動を設定している。
	(2)多摩市という地域の実態 に即しているか。	・巻頭には環境・エネルギー、防災など「持続可能な社会の実現に向けて」が設けられており、「もっと知りたい」や「未来にアクセス」などの特設ページにおいて、持続可能な社会の実現を考えるヒントとなる内容や多摩市の推進するESDやSDGsと関連させ多摩市の課題とも関連させて考えることができる。	・関東地方では地図に多摩ニュータウンの記載がある。また、特設ページ「持続可能な社会に向けて《6テーマ》」、コラム「地理の窓」においてSDGsが取り上げられ、ESDを推進する多摩市の課題と関連させて考えることができる。

教科名		社会(地理的分野)	教科書調査報告(教科書調査委員会)
調査の観点発行者名		帝国書院	日本文教出版
A内容について	(1)基礎・基本の確実な定着 に関する配慮や工夫がなされ ているか。	・各ページに「確認しよう」「説明しよう」が設けられている。また、章や節など単元末の「振り返り1」では重要語句を用いたまとめができ、基礎・基本の確実な定着への配慮がなされている。 ・「技能をみがく」を設け、地図やグラフについて学習に必要な技能を定着させる工夫がコラムに掲載している。	・各ページに「確認」「表現」が設けられ、単元末にはキーワードを 用いて説明する活動が設定されており、基礎的・基本的な知識の 定着を図ることができる。 ・「トライ」や「スキルアップ」の項目を設け、資料の活用や調査方法 の技能を定着させる工夫が見られる。
	(2)課題解決のために必要な 思考力や判断力、表現力等を 育成することに関する配慮や 工夫がなされているか。	・巻頭で考えを整理する方法として思考ツールの紹介がされている。単元末の「振り返り2」では思考ツールを用いて単元の問いを解決する活動が設定されており、思考力や判断力、表現力を養うことができる。 ・「アクティブ地理AL」では、地理的な見方・考え方を活用して地域に見られる課題を考えたり、他者と意見を交換して学びを深めたりすることができる。	・巻頭では地理的な見方・考え方の紹介がされており、単元末の「自分の考えをまとめよう」では思考ツールを用いて問いを解決する課題が設定され、思考力等を養うことができる。 ・「議論をしてみよう」では学習した内容を基に地域が抱えている課題について考察・構想する活動が設定され、対話を促し、深く学ぶことができる。
	(3)資料が精選され、その内容が時代に即応したものになっているか。	・2023年撮影の写真資料があるなど時代に即した資料やグラフデータを掲載するとともに、「写真を眺める」を設け、日常生活と結び付ける資料が掲載されている。 ・特設ページ「アクティブ地理AL」で最新のアフリカ州の事例を取り上げるとともに、地域を越えて関連する資料も扱っており、SDGsやグローバル社会を意識できるような構成になっている。	・2023年撮影の写真資料があるなど、時代に即した資料やグラフデータを掲載するとともに、単元の導入の「学習のはじめに」では単元に関する内容の最新の生活の様子について掲載している。 ・「持続可能な地域を目指して」では最近の事例としてカーボンニュートラルやSociety5.0等にも触れており、未来の社会について考えることもできるよう配慮されている。
	(4)持続可能な社会づくりに 向けた教育・ESDの視点が取 り入れられているか。	ブ地理AL」やコラム「未来に向けて」では、地域的・地球的課題の	・巻頭では「持続可能な社会と私たち」として写真を用いてSDGsを紹介している。また、特設ページ「持続可能な地域をめざして」やコラム「地理+α」では、環境問題や環境保全、伝統文化について持続可能な未来の社会の実現を考えさせるような構成になっている。
B使用上の便宜について	(1)生徒が主体的に学習を進めやすいような便宜が図られているか。	・「アクティブ地理AL」や「地理プラス」などの学習課題を通して、主体的に学習を促すパフォーマンス課題を設定したり、興味・関心をかき立てる資料を掲載している。また、単元末の「学習を振り返ろう」では、単元の問いに対して、これまでの学習内容を確かめたり、振り返ったりするための問題や重要語句の確認が示され、当該単元以降、主体的に学習が進められるよう配慮されている。	・各単元ともに、冒頭で写真を取り上げて地域の概要や単元の内容のイメージをつかんだ上で単元の学習課題や学習の流れを明示している。また、単元末の「議論してみよう」には対話的な学び合いによる学習活動が例示されており、主体的に学習を進めるような便宜が図られている。
	(2)多摩市という地域の実態に即しているか。	・関東地方では地図に多摩ニュータウンの記載がある。また、特設ページ「未来に向けて」では人権や環境・エネルギー、防災など地域の課題を通してよりよい社会の実現を考察できるようになっており、多摩市の課題とも関連させることができる。	・関東地方では多摩ニュータウンの課題が題材として取り扱われており、「多摩ニュータウンに住む人」のインタビューも掲載されている。また、「持続可能な地域を目指して」では、ニュータウンの課題と再生を目指す取組として多摩ニュータウンの例が示されている。